

## 第8回塩釜地区防災対策委員会合同防災訓練

令和元年9月12日（木）に塩釜地区防災対策委員会合同防災訓練を開催しました。

塩釜地区防災対策委員会は、塩釜地区管内に所在する陸上自衛隊第22即応機動連隊、宮城海上保安部、宮城県塩釜警察署及び塩釜地区消防事務組合の4機関で構成され、災害時における円滑な連携及び協力体制の強化を目的としており、これまで様々なシチュエーションでの合同訓練を定期的に重ねてきています。

第8回目となった今回は、2020東京オリンピックのサッカー会場となっている、利府町のひとめぼれスタジアム宮城（宮城県総合運動公園内）において、サッカー国際試合の入場ゲート付近で爆発が発生し、多数の負傷者が発生したとの想定で実施され、塩釜地区防災対策委員会の4機関をはじめとする関係7機関、200名が参加しました。訓練では、化学テロの可能性を考慮した検知活動や、負傷者の搬送訓練、爆発物処理訓練などが実施され、災害発生時の各機関相互の連携の重要性が再確認されました。

開幕まで1年を切ったオリンピックを控え、今後も引続き各機関の連携を強化して災害対応力を向上させていきます。



問い合わせ先

塩釜地区消防事務組合消防本部

警防課消防係 ☎ 022-361-1620